



飯綱町立
三水小学校
学校だより
No. 7

あした 明日へ

令和2年9月30(水)
担当(校長)鈴木 雅幸
TEL 026-253-2004
Fax 026-253-8691

『運動会』笑顔で 全力！ ～あきらめないで どんなときも～



【開会式の様子】



【応援合戦の様子】



【かけっこ・短距離走の様子】



【1・2年生エビカニバトルの様子】



【3・4年生全集中！三水の呼吸の様子】



【5・6年生思いよ届けの様子】



【全校 大玉転がしの様子】



【5・6年生 思いをつなげての様子】



【6年生運動会テーマ前での様子】

9月12日(土)に、運動会を実施しました。前日の夕立で校庭が池のようになり、ご心配いただきましたが、当日は朝から青空が広がり運動会日和となりました。

8月29日(土)にはPTA作業で環境整備

を行い、運動会に備えていただきました。今年度の運動会は、コロナ禍の関係で、半日開催としたり、種目数を減らして実施方法を工夫したりして、安全な運動会をめざしました。具体的には、密になる「綱引き」をやめたり、「大玉送り」を「大玉転がし」に変更したりしました。1年生にとっては小学校で「初めての運動会」、6年生にとっては「最後の運動会」、2～5年生にとっては、それぞれの思いや願いをもったの運動会でした。保護者のみなさまには、当日までの健康観察や準備等ご協力をいただきました。ありがとうございます。

「ラストラン ふるえたけれど あっという間 走り終わりは 楽しく感じ」(6年生)



【運動会に向けたPTA作業の様子】

上水内郡 PTA 研究集会「少年よ大志をいだけ」と言えますか？

9月5日（土）に、飯綱中学校において上水内郡 PTA 研究集会を行いました。コロナ禍でさまざまな行事が中止や延期される中でしたが、三密を避け、入場の際に検温や手の消毒等を行ったうえで開催しました。「お母さんのお腹の中の赤ちゃんのへその緒の血液はだれの血液でしょう？」といった問いから、町田暁世（あきよ）先生のご講演が始まりました。新型コロナウイルスの3つの顔（①病気そのもの ②不安と恐れ ③嫌悪・偏見・差別）についてのお話もありました。「子どもを生き甲斐にすることを止め、自分自身の人生を生き始めること。」といった親の課題を指摘されました。また、もと高校の保健体育の先生ならではの、羽生結弦選手や小平奈緒選手といった一流のアスリートたちの知られざる一面についてなど、子育てに参考になる多くのお話をお聞きすることができました。昨年度からご準備いただいた PTA 役員のみなさま、ありがとうございました。



【町田暁世先生ご講演の様子】

長い「2学期」 笑顔と日常！

夏休みが明けて、一か月が過ぎました。今年度の2学期は19週にもなります。クリスマス頃まで長い授業日が続きます。通常の間でも2学期は長いので、運動会や音楽会、社会見学、児童会の行事、〇〇週間などを取り入れて、ワクワクする気持ちや達成感を味わい、学校生活に変化と潤いをもたらしてきました。今年度は、運動会がそうでしたが、行事内容の縮小や精選を行います。「残暑厳しい8月下旬からの疲れは、次第にボディーブローのように聞いてくるだろう。」との報道がありました。それは、子どもだけでなく大人も同じでしょう。日照時間が少なくなり、秋風とともに疲れがたまってくるかもしれません。新型コロナウイルスの猛威はおさまっていません。連日、全国の感染者数が報道され、長野県では？飯綱町では？と心配になります。家庭内感染や集団発生した会社や学校、大学への差別や偏見も生じています。先日の、上水内 PTA 研究集会で、町田先生が日本赤十字社の資料を基に、人権についても触れられました。加えて、日本赤十字社では、感染症に伴う差別や偏見を啓発するアニメーション動画「ウイルスの次にやってくるもの」を配信しています。「人が人を傷つけあうことで、感染症を隠すようになる」等子どもたちと学び合いたい内容です。是非、親子でご覧になってください。8月末に文部科学大臣から差別や偏見防止のメッセージが出されています。保護者や地域に対しては「誰もが感染する可能性があるのですから、感染した児童生徒等や教職員、学校の対応を責めるのではなく、衛生管理を徹底し、更なる感染を防ぐことがたいせつです。」とされています。11月には「人権教育月間」を計画しています。感染症予防とともに人権教育も進めてまいります。

【日本赤十字社の資料から】

